

2026 千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム総会
議事要旨

1 日時

令和8年7月10日（金）10時00分～11時30分

2 場所

千葉市役所1階 正庁

3 次第

- (1) 開会
- (2) 会長・副会長挨拶
- (3) 脱炭素先行地域の事業進捗報告
- (4) 事例紹介
- (5) コンソーシアム会員の取組紹介
- (6) 啓発活動プロジェクト実績報告
- (7) 講評
- (8) 閉会 ※12時まで交流会を実施

4 要旨

- (1) 開会
- (2) 会長・副会長挨拶
- (3) 脱炭素先行地域の事業進捗報告（千葉市）
資料に沿って説明
- (4) 事例紹介（TNクロス株式会社、千葉エコ・エネルギー株式会社、千葉市）
資料に沿って説明
- (5) コンソーシアム会員の取組紹介
出席者による取組紹介
（主な内容）
 - ・ 遊休地や施設屋根を活用したオンサイト・オフサイト PPA、太陽光発電設備の導入を通じて再エネ利用の拡大を推進している。
 - ・ 再エネの出力変動対策や停電時の電力確保等に向け、蓄電池導入やエネルギーマネジメントの取組みを進めている。
 - ・ LED 化や高効率設備導入等、施設の省エネ化を進め、事業活動全体のエネルギー消費削減を図っている。
 - ・ 非化石証書や J-クレジット等を活用し、カーボンオフセットに取り組んでいる。
 - ・ 廃棄物の再資源化やバイオマス活用、エネルギーの地産地消を通じて循環型社会の実現を目指している。

- ・ 企業・大学・スポーツ団体・自治体が連携し、出前授業をはじめとする環境教育やカーボンオフセット試合の開催など、市民を巻き込んだ取組みを積極的に展開している。
- ・ 金融機関を中心に、排出量算定や省エネ提案、GX コンサルティングを通じて取引先企業の脱炭素経営を支援している。

(6) 啓発活動プロジェクト実績報告

資料に沿って説明

(7) 講評

(千葉県環境生活部温暖化対策推進課)

- ・ 取組みが順調に進んでおり、企業間の連携が多く生まれている印象を持った。
- ・ 千葉市の市有施設の電力消費に伴う CO2 排出実質ゼロ達成や、全国的にもモデル事業として発信されている PPA モデルといった取組みを、県内の他自治体にも広げられるよう、県としても協力していきたい。

(環境省関東環境局地域脱炭素創生室)

- ・ 千葉市は、R4 年度に脱炭素先行地域に採択され、先進性・モデル性において高い目標を掲げる事業となっているところ、目標に向けて着実に事業を進めていただいております、ひとえに、千葉市の努力と関係企業・団体の協力によって成り立っているものと考えています。
- ・ 環境省として、脱炭素先行地域は R7 年度に採択を終え、今後新たな事業の検討を進めているところ、この 7 月 1 日から関東地方環境事務所を関東環境局に名称を変え、より一層、環境行政に力を入れていきたい。
- ・ 民間企業におかれては、まだまだこれからの取組みもあると思うが、行政の方にもお力添えをいただき、一緒に脱炭素を進めていただきたいと思います。

(8) 閉会